



豊かな自然と共に、多様な体験ができるパークライフ

高浜町緑の基本計画 (公園基本計画)

令和2年度から令和13年度

概要版

福井県高浜町

若狭湾や青葉山、各地区に点在する緑地、田畑や公園は、私たちの心に安心とゆとりを与えるかけがえのない財産です。平成28年4月、ビーチの国際環境認証ブルーフラッグを取得し、環境保全に対する住民意識が高まる中、緑のもたらす多様な機能や役割を再認識し、緑を活かした自然と共生するまちづくりが重要になっています。

『高浜町緑の基本計画』は、地域の歴史・文化等の多様性を生かしながら、住民参加により生活空間の充実を図るなど、緑を「創出・保全・育成する」取り組みにより、町民一人ひとりが、一つ先の豊かさを実感できるような緑のまちづくりを目指し策定したものです。今後、町民参加のもと、横断的な連携により、豊かな自然と共生するライフスタイルの実現に向け、みなさまのご協力・ご参加をよろしくお願いいたします。

高浜独自の施策を積極的に取り組み
人口減少社会でも、輝き、つながり、愛される
緑豊かな町を共に目指します。

令和2年3月
高浜町長 野瀬 豊

1. 緑の基本計画（公園基本計画）策定の目的

基本計画は、総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画など関連計画と整合を図りながら、緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するために策定します。そのうえで今回は、特に公園や広場等の子ども達の遊び場やオープンスペースの確保、住民・民間事業者・行政の横断的な取り組みを優先的に進めるため、リーディング事業や地区別計画として取りまとめました。



2. 緑の現状と課題

- ・都市公園 0.21 m²/人（福井県 16.8 m²、全国平均 10.4 m²）と少ない
- ・「緑が少ないと感じない理由」は、生活エリアを囲むような緑の存在
- ・公園で遊ぶ子どもの減少
- ・一方、「公園がほしい」「遊び場の不足」「遊具の希望」の子育て世代が多い

【都市公園・広場・緑地の現況】

【一人当たりの都市公園面積】

高浜町	0.21 m ² (東スカ公園のみ)
全国	10.4 m ²
福井県	16.8 m ²

都市公園≒児童公園
管理された遊具や広場のある遊び場

一方、周辺を海、山、田畑に囲まれる高浜町では、心理的に緑の量が少ないと感じていない人もいます。

【町民アンケート】1,047人/2,500人(18歳以上)

【18～49歳回答】

スケボー等できる「スポーツ公園」6%
草花・池のある「自然公園」22%
遊歩道の充実した「散策公園」16%
複合型遊具のある「遊び場公園」37%
大きな芝生広場の「芝生公園」16%

50歳以上は、散策ができたり、自然を楽しめる公園を希望している

【保育所アンケート】292/338人(4地区)

【休日の過ごし方】

自宅	25%
商業施設	15%
子ども家族館	11%
海	11%
エルらんど	10%
図書館	5%
池田山公園	5%
その他	(城山公園、友達宅、青葉山ろく公園、きのこの森等)

公園の内容については、「遊具を設置してほしい」という意見が最も多かった。

【小学校アンケート】470/556人(4地区)

【休日の過ごし方】

自宅	38%
友達宅	14%
その他	19%
図書館	6%
児童センター	5%
子ども家族館	4%
エルらんど	3%
海	3%
公民館、池田山公園、きのこの森、城山公園	

遊具の種類では、アスレチックなどの「運動遊具がほしい」という傾向があった。